

yamaguchi
Fujinkai
ふじんかい

山口県連合婦人会 会報

2024.3

Vol. 69

発行／山口県連合婦人会

山口市湯田温泉5丁目1番1号
カリエンテ山口内
(山口県婦人教育文化会館)

Tel 083-925-7345 Fax 083-928-7346

e-mail: yamakenfu@ray.ocn.ne.jp

<http://www.y-caliente.jp/fujinkai/index.html>



記念式典



永年功労者表彰受賞者

特集	山口県連合婦人会70周年記念大会	P1~7
	あいさつ・祝辞	P2
	70周年を迎えて	P3
	永年功労者表彰	P4
	講話・記念講演・記念コンサート	P5
	活動展示・バザー写真集	P6・7
	フィルムレポート	P8

山口県連合婦人会七十周年記念大会



期日 令和五年十一月八日(水)
会場 山口県総合保健会館

主催者あいさつ



山口県連合婦人会

会長 藤家幸子

おはようございます。秋も深くなりました。紅葉の美しい県下各地よりこんなに大勢の会員の皆様、一般の方々、そしてこの婦人会をずっとつないでくださった大先輩の方々をお迎えし、今日の七十周年記念大会を盛大に開催することが出来ますことを心からうれしく思います。

私たちの日ごろの活動に對しまして、山口県副知事の平屋隆之様、山口県議会議長の柳居俊学様、地元山口市長の伊藤和貴様を始め、多くの御来賓の御臨席を賜りましたことを深く感謝申し上げます。その中で存在感抜群の全国女性団体連絡協議会会長 櫻井よう子様は、本日茨城県から駆けつけてくださいました。

婦人会はこれまで肅々と先輩の方たちがつないできてくださった小さなことに気づき、みんなで心ひとつにして行動し活動してまいりました。

日々の活動の一端を会場ロビーにパネル写真等で展示するとともに、丹精込めた「手作り作品」などを飾らせていただきました。

さらに婦人会活動はご存じのように多岐に亘っておりますが、「複十字シール結核予防運

動」「北方領土返還要求運動」なども婦人会活動の中で大きな取組みのひとつです。

本日ロビーでは各地域婦人会が工夫を凝らして国内外支援バザーを開催しておりますが、売上金・募金はすべて赤十字に寄付をさせていただきます。

七十周年という「節目」の今日から、また、一歩ずつ進んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。ご挨拶いたします。ありがとうございます。

来賓祝辞



山口県知事

村岡嗣政様

「山口県連合婦人会70周年記念大会」の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

「学ぼう つなごろう 広げよう 次世代へ」という大会テーマの下、誰一人取り残されない持続可能な社会の実現を目指し、思いやりの心で活動の輪を広げ、次世代につなげる大切な節目の大会が、盛大に開催されますことは誠に喜ばしく、心からお祝いを申し上げます。

藤家会長様をはじめ、山口県連合婦人会の皆様には、平素から、男女共同参画社会の実現や

地域社会の活性化、教育・子育て支援、国際協力、さらには交通安全活動や結核予防活動など、地域に根差した幅広い社会貢献の取組に御尽力いただいておりますことに対し、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、国においては、本年6月に「女性版骨太の方針2023」が決定され、すべての人が生きがいを感じられ、多様性が尊重される、持続可能な社会の実現に向けた取組が進められています。特に、女性活躍と経済成長の好循環の実現や、女性の所得向上・経済的な自立に向けた取組を強化することが重点事項とされています。

こうした中、県では、「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現を目指し、県政運営の指針である「やまぐち未来維新プラン」において、「結婚・妊娠・出産、子育て応援」や「誰もがいきいきと輝く地域社会の実現」を、重点的に政策を進めるプロジェクトとして掲げております。

「結婚、妊娠・出産、子育て応援」につきましては、若い世代が結婚の希望を叶え、安心して子どもを産み育てることが出来る環境づくりに向けて、切れ目のない支援の充実を図るとともに、地域・企業や関係団体等と連携した「やまぐち子育て県民運動」など、社会全体で子どもと子育て世帯を支える取組を積極的に展開してまいります。

また、「誰もがいきいきと輝く地域社会の実

現」に向けては、産学公連携による女性の活躍促進や困難な問題を抱える女性への支援、高齢者の社会参画の促進など、県民一人ひとりが自分らしく活躍できることを目指した諸施策を鋭意進めているところです。

これらの取組を一層推進していくためには、連合婦人会の皆様が、70年という長きにわたって積み重ねてこられた素晴らしい実績と豊かな御経験が、大きな力になるものと確信いたしております。どうか皆様方には、今後も、更なる御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、山口県連合婦人会の今後益々の御発展と、本日御参集の皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

山口県連合婦人会 副会長 中元みどり

このたび山口県連合婦人会七十周年記念大会を迎え、心からうれしくこの喜びを皆さまと共に分かち合いたいと思います。

またたくさんのご来賓にご臨席をいただき、現婦人会の活動を支えてくださっているのだと大変うれしく思います。

オープニングは、はじけるような笑顔のフラダンスでスタートし、主催者のあいさつで「肅々と先輩の方たちがつないでこられた活動を続けて参りました」とこれまでの歩みを振り返り、「今後も私たちは七十周年の大きな節目からまた一歩進んでいきたい」との言葉を、何度も自

分に言い聞かせた次第です。

朝一時からお餅を搗いて準備した救援バザーも、大人気で開始してまもなく売り切れました。これからの活動としては、地域に根差した持続可能な社会の実現を目指し、地域との絆を大切に、細やかな気遣いを持って、さらに活動の場を広げ次世代につなげていきたいと思っています。

美祢市連合婦人会 会長 木島和世

山口県連合婦人会も七十周年を迎えて、このたび記念大会を開催することができましたこと、会員一同とても喜んでるところです。またこの記念大会に参加できたことが、感謝の念で感激もひとしおです。

開会の式典も盛大に行なわれ、記念講演も山本哲也さんが全国を旅しての講話、とても心に残ることばでした。また、全国女性団体連絡協議会 会長 櫻井よう子様の講話を聞いて、まだまだ元気になれるのではないかと励まされました。そして記念コンサートでのすばらしい歌声とピアノで、また活力をもらいました。この記念大会に参加できたこととても幸せになりました。

会場いっぱいには婦人会員が集まり、力を一つにして、七十周年記念大会が開催されたことにさすが婦人会とあらためて確信した次第です。これを機に、若い力と共に私たち地域婦人会も、ますます発展していきたいと願います。

学ぼう つながろう 広げよう 次世代へ

玖珂郡連合婦人会 会長 藤本亮恵

山口県連合婦人会七十周年記念大会の開催にあたり、実行委員として色々な事に関わらせて頂き、多くのことを学ばせていただきました。そして沢山の方と深いご縁を頂きました。感謝の気持ちで一杯です。

六月から吾妻袋の製作を十四名で始めました。動画で舞妓さんがお稽古の行き返りに持っていた袋が気になり、作り方を模索して型紙を作り、布地の裁断、印付け、アイロンがけ、家に持って帰ったの裁縫等自分ができることの作業に取り掛かりました。コロナ禍の自粛が解け当初は三百枚だったのが五百枚の作成、大変なことになったと悩んでいると、大島郡の理事が「お手伝いしましょうか」と声をかけてくださいました。肩の荷が下り気持ちに余裕が出来ました。また、郡市の会長が布地を提供してくださいました。萩市の理事が宅配で届けて下さいました。本当にたくさんのご協力ありがとうございます。婦人会のもつたいないの精神が爆発したように思います。

余談ですが、布地を余すところなく使いたかったので、サイズ違いの物、二色使いの物など、色々あったとは思いますが、大目に見て頂ければ幸いです。

これからも皆様から頂いた絆・協力をパワーにして、山口県連合婦人会と地域婦人会の発展と継続を次世代に繋げるよう頑張つて参ります。



七十周年記念 永年功労者表彰

◆ 勤続四十年以上

下松市西地区婦人会 磯 永 千代子

◆ 勤続三十年以上

大島郡連合婦人会 中 元 みどり

岩国市川西婦人会 藤 谷 允子

岩国市人絹婦人会 吉 田 和江

岩国市室の木東婦人会 森 川 裕子

岩国市装束婦人会 嶋 田 祥子

◆ 勤続二十年以上

岩国市西岩国婦人会 高 原 八重子

柳井市伊陸婦人会 溝 口 啓子

柳井市大島婦人会 佐々木 暁美

下松市花岡地区婦人会 菊 本 涼子

周南市連合婦人会 石 田 睦子

山口市徳佐婦人会 松 浦 富子

山口市小郡婦人会 井 上 美代子

山口市連合婦人会 蕨 昭子

宇部市婦人会協議会 藤 井 恵子

山陽小野田市高千帆女性会 田 中 サチ子

美祢市秋吉婦人会 木 島 和世

美祢市別府婦人会 長 谷 京美

美祢市岩永婦人会 西 村 百合子

萩市三見婦人会 山 下 清子

山口県連合婦人会事務局 平 野 愛子

◆ 勤続十年以上

大島郡沖浦婦人会 松 井 高子

阿武郡連合婦人会 藤 田 恒代

岩国市山中団地婦人会 山 中 みさを

岩国市海土路婦人会 村 中 久美

岩国市連合婦人会 上 村 康子

柳井市連合婦人会 嬉 静 恵

下松市久保地区婦人会 中 村 征子

下松市北地区婦人会 相 本 正子

下松市連合婦人会 古 田 尊子

周南市鹿野婦人会 有 國 美恵子

周南市熊毛婦人会 佐久田 美智枝

山口市嘉年婦人会 山 村 加世子

山口市二島婦人会 吉 田 芳子

宇部市鶴の島地区自治会婦人会 片 岡 直子

連絡協議会 山陽小野田市連合女性会 岡 部 つや子

美祢市大嶺婦人会 杉 山 秋子

萩市連合婦人会 藤 家 幸子

萩市江崎婦人会 嶋 田 恵子

◆ 勤続三十年以上務め令和五年三月退任

山口市連合婦人会 松 永 君子

◆ 勤続二十年以上務め令和五年三月退任

宇部市西岐波婦人連絡協議会 中 野 リエ子

◆ 勤続十年以上務め令和五年三月退任

岩国市美和支部婦人会 上 尾 英子

岩国市玖珂支部婦人会 永 岡 公美子

柳井市柳西婦人会 東 條 一美

山口市島地婦人会 松 尾 富美子

受賞者代表 謝辞

山口市小郡婦人会

会長 井上美代子



この度、山口県連合婦人会七十周年記念大会において、永年功労者表彰者として栄えある表彰を受けました一同を代表して、一言お礼を申し上げます。

来賓各位ご臨席のもとで盛大な表彰式を挙げていただき、誠に身に余る光栄と存じ、厚くお礼申し上げます。

私どもが、微力ながらもこうして活動を続けることが出来たしたのは、ひとえに多くの方々のご理解・ご支援とご指導くださいました諸先輩、そしてともに活動してきた会員の皆様の協力のおかげと心から感謝しています。

「平成の大合併」によって二十五郡市から十六郡市へと会の合併が行われましたが、それぞれの地域の伝統や文化に育まれた特色ある活動に出会い、楽しく交流することが出来ました。

顧みまずに私は、婦人会に入会して六十年余り、生活や行動の原点は常に婦人会にあるように思います。

婦人会は「学び 研修 実践」の場であり、社会への発信奉仕の場でもあります。

これまでの「国民文化祭」「全地婦連研究大会 in 山口」「おいでませ 山口国体」「六十周年記念フェスティバル」など沢山の大会で培った「おもてなしの心」は、日頃の私たちの活動の中で活きています。この度改めて記録を懐かしく見ましたところ、どの場面にも皆のいきいきと明るい笑顔が満ち溢れていました。この笑顔こそ次代への活動の原動力であり婦人会の底力だと感じたところです。

私たちは本日の受賞を機に、今後も一層自分を磨き、婦人会活動と地域活動に貢献して参りたいと存じますので、一層のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、謝辞といたします。



櫻井会長

講話の間、舞台の前面を右左に移動され一人一人の顔を見ながら、話される熱意ある姿は、会員の心に響きました。最後に、穏やかな山口県に来て良かったと締めくくられました。

講話

全国女性団体連絡協議会

会長 櫻井よう子様

七十周年を迎えた山口県婦人会は何と素晴らしい事か、こつこつ活動している粘り強さがあると講話が始まりました。

「婦人会はどんな仕事をしているの」と聞かれたらどう答えるか。婦人会は文部科学省社会教育課の管轄。団体の力、伝達する力、一人一人の力、誰からも好かれる事も社会教育活動に重要。私は好かれていと言われ、自分を認める自己肯定感は大切だと聞きました。

日本の女性は素晴らしい。昔、火事で男性が火消しに、女性は家にある米を持ち寄りおにぎりを作った。これが防災活動の始まり。百年前の愛国婦人会活動の始まりからの歴史を知り、活動に対する姿勢を学びました。

毎月新聞を発行しているが、これは会報ではない。会員だけの配布では駄目、色々な人へ情報を正しく伝達する為の広報誌、回覧に入れるなど工夫してと、具体的方法を学びました。

記念講演

「小さな旅から見えてくる日本」

フリーアナウンサー 山本哲也様

NHKアナウンサーとしてご活躍され、現在はフリーアナウンサーとしてNHK「小さな旅」の旅人として全国を訪れていらっしゃる。萩市佐々並のご出身で、藤家会長とも旧知の間柄で、顔見知りの会員さんもあり、地元に戻って来られたような柔らかい雰囲気での講演でした。

この小さな旅を八年続け、回った地域は一四四か所で四百時間以上インタビューされたそうです。すると見えてくることがあったそうです。

インタビューの打ち合わせはせず、ディレクター



山本哲也様

が取材して、それをもとに、テーマを決めて聞いているだけです。聞き始めると、皆さんずっと喋り続け、表情が柔らかくなっていく。力が抜けていくのがわかり、自分がこれまで胸に収めていたことを、ずっと我慢していたことを、息を吐くように喋ってくださったそうです。

多くの皆さんが人に聞かれたことがない、あるいは言葉にしたことがない、話したことがないというのが皆さんの共通点です。自分の人生を言葉にすることで、自分に気づいて自分が見えてくる。意外とこれができる。自分を言葉

にするということを、もう少し考えた方がいいかもしれない。それが、小さな旅で、四百人を超える方々に聞いた一番の気づきだそうです。

聞かれたことがない、言葉にしたことがないということ、言葉そのものが輝く。初めて自分で言葉にするので、その言葉の輝きには違う新鮮さを感じる。

そこが、やりがいを感じる場所です。話を聞くとその人が元気になってくれる。かと言って、頑張れと言っていない。元気になる近道、自分の人生を自分の事実を言葉にする、これが一番の元気のもとだと思います。

コミュニケーションの中で相手の言葉を理解し、尊重することで信頼が築かれ、つながりが生まれます。質問を通じて相手の考えや感情を引き出し、対話を豊かにすることができます。山本さんの聞く力の素晴らしさを感じた講演でした。

記念コンサート

「愛と平和への祈りをこめて」



ソプラノ

磯部マキ様

伴奏

神木 涼様

山口県連合婦人会 70周年記念大会 令和5年11月8日(水) 山口県総合保健会館



受付風景



記念式典 主催者あいさつ



会場



オープニング



客席にも多くのご来賓



バザーコーナーは大盛況



お見送り



祝電・祝花



萩市連合婦人会の雛飾り

山口県連合婦人会の活動展示



県連の活動パネル展示



シールちゃん シールぼうや



北方領土返還要求運動



複十字シール運動

各郡市連 地域婦人会の活動展示



大島郡連合婦人会



萩市連合婦人会



宇部市婦人会協議会



山陽小野田市連合女性会



岩国市連合婦人会



柳井市連合婦人会

またオープニングのフラダンス、そして終盤の磯部マキ様の心洗われる歌声でステージが盛り上がりました。ロビーでは会員の皆様のすばらしい展示と即売会が行なわれ、とても賑わっていました。皆様の結東力の強さを感じ頼もしく思いました。

山口県連合婦人会七十周年記念式典がご来賓の方、これまで婦人会をずっとつないでくださった先輩の方々、多くの会員の皆様をお迎えして静かに幕が開き開会式が行なわれました。続いて全国女性団体連絡協議会の櫻井会長の元氣な講話、山本哲也様の興味をそそられるお話がとても身近に感じられました。

岡部 つや子

七十周年記念大会を終えて

フィナーレ



私たちの決意



御礼の挨拶



婦人会歌 斉唱

募金のご報告

あたたかいご支援ありがとうございました。

トルコ・シリア地震救援金 512,690 円
 国内災害義援金・海外救援金 110,281 円
 救援金・義援金として日本赤十字社へ寄託しました

祝 令和5年度表彰

おめでとうございます

山口県選奨 副会長 藤井恵子様
 山口県教育委員会表彰 理事 藤本亮恵様

フィルムレポート

交通安全は家庭から

山口県交通安全母の会



交通安全を願ってのぼり旗を作りました



神奈川県横浜市

全国女性団体
研究大会



開会挨拶をする藤家会長

理事総会



島根県出雲市

全女会
中国ブロック会議



わき愛あいフェスタに出展

複十字シール運動
キャンペーン



自転車ヘルメット
ファッションショー

秋の交通安全運動
出発式



中央アピール行動

北方領土
返還要求運動

2024年度 主要事業

- 4月23日(火) 令和6年度理事総会 (カリエンテ山口)
- 5月12日(日) エンパワーメントフェスタ2024
- 10月6～7日 全女会全国大会 (京都市)
- 10月21～22日 全女会中国ブロック会議・地域婦人会リーダー相互研修会 (山口市)
- 8月～12月 複十字シール運動
- 9月～12月 高齢者交通安全世帯訪問

編集後記

かねてより準備を重ねてきた山口県連合婦人会創立七十周年記念の行事を無事終了することが出来ました。七十年の間には昭和、平成の世を送り、今は令和の時代を迎え「人生百年時代」と言われています。その間、コロナ禍や他国での紛争などあれこれと大変なこともありましたが、わが婦人会は動じることなく、会員同士が本気で意見を交わし、世代を超えて学び合い困難を乗り越え、世の中をつないでいくところが活動の原点ですね。また今日から頑張りましょう。

編集委員 岡部、藤井、嬉、伊藤

安全で良い品を、より安く、しかも環境にやさしい化粧品
ちふれ一人一個購入運動



綾花 潤肌実
 クッションファンデーション
 15g 税込み 3,630 円